



Dr. H. Maki, Director of the Road Department
of Tokyo City.

東京市道路局長 工學博士 牧 彦 七 氏

牧彦七博士が六年後には失明すると云ふ事が發表された、何と云ふ悲報であらう。我國の道路學界のオーソリティーたる氏を東京市道路局長室に訪ふたのは昨年十一月中旬であつた。

あの狭い局長室に横窓から射す一面の光線をうけてをる博士の左眼はガーゼの繃帯を當てゝ痛々しい容子であるが、豫算書の檢算に忙しい博士は朱筆を擱く間もなく又明細書の調査に忙しい、然し五分刈頭の丸い顔は充分に肥えて元氣良く見える。

「我々は眞劍である」

博士の一言はそれだ、昨夜も十時頃迄の勤務であるさうな、學者である氏が東京市の局長たる事は實際容易ならざる事である。

人間は誰しも六年後はおるか明日の事さへ知れぬ身だ、我々は唯博士に對して現在の自重自愛を乞ふのみである。博士は例の如く豪傑笑ひで胸中の悲痛を吐いてをらるゝ。此の寫眞は現在のものに非ざるも其元氣横溢の風彩に至りては更に變りなし。